

## 安全衛生委員会視察報告

# 「新たな視点と惜しまぬ努力 みんなで目指すゼロ災害」

### 株式会社クリーンシステムにおける取組み

当協会安全衛生委員会（委員長 片桐孝志）では、令和4年11月1日、「株式会社クリーンシステム」を安全衛生モデル事業所として視察しました。

当日、現地では、同社 鈴木 隆 代表取締役（当協会副会長）から、「安全への取組みに終わりはない。参考になるものは使って欲しい。」とのご挨拶を頂戴した後、同社の衛生管理者を務める加藤健一 生産部次長や副安全管理者の塩野昌俊 同部サブマネージャーから労働安全への取組事例等を説明いただき、佐藤彰史 生産部長等のご案内で場内各処理施設を回りました。

安全衛生規程等の整備や明確な安全衛生組織体制の下、自社の中長期環境経営目標等に物損事故10件／年以下、労災人災ゼロを掲げ、安全担当者による安全パトロールをほぼ毎日行うほか、社内安全衛生委員会のパトロールを月1回実施するなどして、労働安全衛生への取組みの徹底に力を入れる同社には、多くの参考事例がありましたので紹介します。

今後、安全衛生委員会は、今回の視察成果を参考に、次年度の当協会労働災害防止計画の策定等を進めてまいります。



#### 視察先 株式会社クリーンシステム 代表取締役 鈴木 隆

・所在地 山形市飯塚町(本社) ※他に関東支店(千葉県柏市)等あり  
・業務内容 廃棄物リサイクル、廃棄物収集運搬、リサイクル型解体等  
・従業員数 122人 (R4.4.1 現在)  
・所有車両 収集運搬車両39台 (R4.3 未現在)  
／R3年度産廃収集運搬実績35,370t

・処理施設 木くず破砕、廃プラ類等選別・破砕・減容固化等  
／R3年度産廃中間処理実績(本社)58,266t⇒内リサイクル率86.8%  
・事業認定 優良産廃処理業者認定、エコアクション21認証、山形県環境学習支援団体認定

## 参考事例1 社内意識の向上・改革

### 1 年間スローガンや労働安全への提案募集

従業員より、年間と季節ごとの安全スローガンを募集して社内掲示しているほか、労働安全への環境改善提案を募り、実践することで、労働安全意識の高揚等につなげている。

- \* 2022 年度年間安全スローガン  
**「新たな視点と惜しまぬ努力  
 みんなで目指すゼロ災害」**
- \* 2022 年度冬季安全スローガン  
**「安全に 近道 抜け道妥協なし  
 ゆっくり走ろう冬の道」**

改善提案の実践・場内カーブミラーの設置



### 2 安全カメラ設置による意識改革と画像によるヒヤリハット場面の認識拡大

処理施設内要所に安全カメラを設置することで、作業安全徹底への意識改革が図られたほか、過重労働の防止にもつながった。さらにヒヤリハット場面を写真化することで、ヒヤリハット場面の現場認識の拡大と、報告書作成の効率化にもつなげている。

## 参考事例2 RKY(リスク危険予防)の実践

### 1 指差し呼称の完全実施とRKY活動表の活用

有効な安全のアイテムである“指差し呼称”の完全実施と、RKY活動表を活用し、作業側側のリスク対策だけでなく、事業者側が取り組むべき根本的なリスクの解消につなげている。



### 2 安全啓発キャラクター「ヒヤリハット君」とステッカーの活用

自社オリジナル安全啓発キャラクター「ヒヤリハット君」のステッカーや各作業箇所特有の注意喚起ステッカーを、RKYの視点を絡め効果的に貼付している。



### 参考事例3 働きやすい職場環境の整備

#### 1 飛散防止への取り組み

粉塵の発生が懸念される作業箇所では、地下水を利用したミスト散布や路上散水等を行うことで飛散を防止するとともに、夏場の熱中症予防にも効果を発揮している。



#### 2 交通誘導員の配置と利用しやすい外部トイレの設置

搬入・搬出車両出入口付近の安全確保のため、交通誘導員を配置している。

受付・管理棟の外部に男女別のトイレを設け、屋外作業員や外部からの搬入業者等も利用しやすい環境を整備している。



#### 【施設等で説明を受ける当協会安全衛生委員会メンバー】



#### 安全衛生委員会メンバー

- 委員長 片桐孝志 (天童環境株式会社 代表取締役副社長)
- 委員 村上山和 (株式会社クレンジング興産 代表取締役)
- 委員 柿崎勝彦 (最上共同クリーン株式会社 代表取締役社長)  
※代理視察 梁瀬伸祐 (同社 常務取締役)
- 委員 遠藤一生 (有限会社厚生社 常務取締役)
- 委員 丹治正彦 (東北環境開発株式会社 常務取締役)